

2025 年度（第 2 次）神戸市外国語大学大学院 入学試験

日本アジア言語文化専攻（日本語領域）

以下の設問Ⅰ～設問Ⅲのなかから、2問を選んで解答しなさい。設問一つごとに1枚解答用紙を使って記入し、どの設問を選んだか明記すること。

設問Ⅰ 日本語非母語話者が日本語を用いてコミュニケーションを行う際に、誤解が生じやすいと思われる言語現象の具体例を挙げ、どういった場合に誤解が生じやすいのか、また、なぜその誤解が生じやすいのか、そして、それを解消するためにどういった対策が考えられるのかを論じなさい。

設問Ⅱ 例えば、「書き始める」「話し続ける」「読み終わる」などの複合動詞はふつう辞書に載っていないが、「書き入れる」「話しかける」「読み聞かせる」などの複合動詞は載っている。また、「ぐらっと」「きちっと」「じわっと」などの語は、これらの形で副詞として辞書に載っているが、「ぐらぐらと」「きっちり」と「じんわりと」などの語は、これらの形で載っていない。ただし「ぐらぐら」「きっちり」「じんわり」などの語は辞書にある。このように整理されている理由を説明しなさい。

設問Ⅲ (1)から(9)は、とある琉球諸語の言語の調査で得られた形容詞語彙のデータである。データを元に、-ha, -sya, -sa は同じ形態素の異形態と分析すべきか、それぞれ別の形態素と分析すべきか答えよ。解答の際、どちらの分析であっても、なぜそのように分析できるのか、データを使って前後の音環境や分布に言及して説明せよ。なお、データはすべて音韻表記であり、/y/ は [j], /f/ は [ɸ~f], /r/ は [ɾ] である。

- | | |
|------------------|--------------------|
| (1) gumaha 「小さい」 | (6) ffuha 「黒い」 |
| (2) piisya 「冷たい」 | (7) kipoha 「煙たい」 |
| (3) byoosa 「かゆい」 | (8) yaaha 「ひもじい」 |
| (4) keesya 「美しい」 | (9) nugurisya 「怖い」 |
| (5) tuusa 「遠い」 | |